

令和6年8月18日

消費生活用製品の重大製品事故に係る公表について

消費生活用製品安全法第35条第1項の規定に基づき報告のあった重大製品事故について、以下のとおり公表します。

○特記事項あり

ノートパソコン、電気ケトル、鍋（取っ手着脱式）、ポータブル電源（リチウムイオン）に関する事故（リコール対象製品）について

（詳細は次頁以降参照。）

- | | |
|---|-----|
| 1. ガス機器・石油機器に関する事故
（うちカセットボンベ1件） | 1 件 |
| 2. ガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、
製品起因が疑われる事故
（うちノートパソコン1件、電気ケトル1件、
鍋（取っ手着脱式）1件、ポータブル電源（リチウムイオン）2件） | 5 件 |
| 3. ガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、
製品起因か否かが特定できていない事故
（うちリチウム電池内蔵充電器3件、球出し機（テニス用）1件、
ポータブル電源（リチウムイオン）1件、ACアダプター1件） | 6 件 |
| 4. 製品起因による事故ではないと考えられ、今後、消費者庁製品事故情報検討会及び消費経済審議会製品安全部会製品事故判定第三者委員会合同会議において、審議を予定している案件
該当案件なし | |

1. ～ 4. の詳細は別紙のとおりです。

5. 留意事項

これらは消費生活用製品安全法第35条第1項の規定に基づく報告内容の概要であり、現時点において、調査等により事実関係が確認されたものではなく、事故原因等に関し、消費者庁として評価を行ったものではありません。

本公表内容については、速報段階のものであり、今後の追加情報、事故調査の進展等により、変更又は削除される可能性があります。

6. 特記事項

(1) 株式会社東芝（現 Dynabook株式会社）が輸入したACアダプター（ノートパソコン用）（「ノートパソコン」として公表）について
（管理番号：A202600524）

①事象について

異臭がしたため確認すると、株式会社東芝（現 Dynabook株式会社（法人番号：8010601034867））が輸入したACアダプター（ノートパソコン用）及び周辺を焼損する火災が発生していました。当該事故の原因は、現在、調査中です。

②当該製品のリコール（無償交換）について

同社は、当該製品を含む対象製品（下記③）について、製造上の不具合により、DCプラグ部の絶縁性能が低下し、異常発熱して発火に至るおそれがあることから、事故の再発防止を図るため、2018年（平成30年）6月22日及び2024年（令和6年）2月21日にウェブサイトへ情報掲載を行い、対象ACアダプターをお持ちの方に対し、無償交換を実施しています。

なお、今般報告のあった当該製品（管理番号：A202600524）の事故の原因が、上記のリコール事象によるものかどうかは現時点では不明です。

③対象製品：製品名、型番（部品番号）、製造期間、対象台数

製品名	型番（部品番号）	製造期間	対象台数
パソコン用 AC アダプター	G71C0009S114	2008 年 4 月 ～ 2012 年 12 月	19,343
	G71C0009S214		33,052
	G71C0009S414		14,501
	G71C0009S112		130,508
	G71C0009S212		181,621
	G71C0009S412		3,899
	G71C0009S110		336,579
	G71C0009S210		600,348
	G71C0009S410		27,265
	G71C0009T110		175,681
	G71C0009T112		160,276
	G71C0009T114		31,849
	G71C0009T116		60,402
	G71C0009T210		292,357
	G71C000DX110		10,698
	G71C000DX410		98,105
	G71C000F7110		71,754
	G71C000BY110		10,384
	G71C000DH110		42,277
	G71C000DH410		159,402
	G71C000DM110		65,711
	G71C000DM410		294,587
	G71C000AE110		76,231

	G71C000AE210		164,928
	G71C000AE410		1,873
	G71C000AE112		26,666
	G71C000AE212		535,844
	G71C000AE412		5,225
	G71C000DP110		271,892
	G71C000DP410		71,287
	G71C000AR110		18,967
	G71C000AR210		375,910
	G71C000AR310		95,857
	G71C000AR410		41,170
	G71C0009T212		116,108
	PA1750-04		359,941
合計			4,982,498

2018 年（平成 30 年）6 月 22 日からリコール（無償交換）を実施
回収率：20.5%（2026 年 7 月 31 日時点）

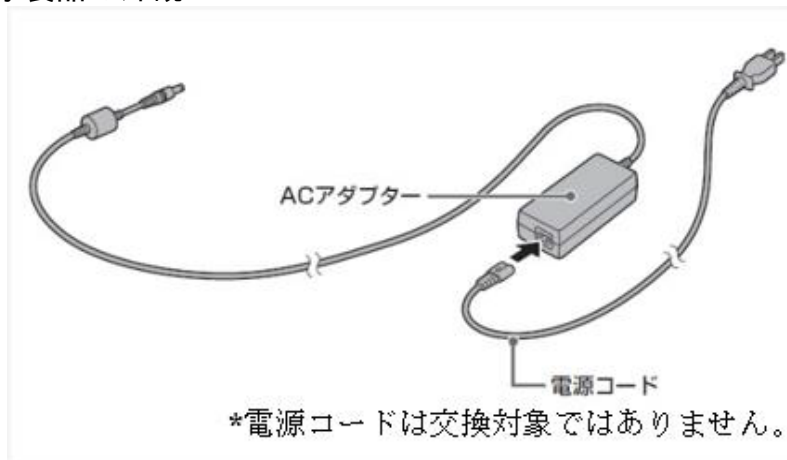
<リコール対象製品での事故件数>

対象製品におけるリコール対象の内容による 2010 年度以降の事故（原因調査中を含む。）の件数は、次のとおりです。これらは、消費生活用製品安全法第 35 条第 1 項の規定に基づき報告を受けたものです（「ノートパソコン」、「デスクトップパソコン」又は「ACアダプター（ノートパソコン用）」として公表しています。）。

年度	事故件数	被害状況	年度	事故件数	被害状況
2026年度	3	火災	2017年度	4	火災
2025年度	8	火災	2016年度	4	火災
2024年度	10	火災	2015年度	1	火災
2023年度	6	火災	2014年度	0	—
2022年度	0	—	2013年度	0	—
2021年度	2	火災	2012年度	0	—
2020年度	3	火災	2011年度	0	—
2019年度	8	火災	2010年度	0	—
2018年度	8	火災			

※当該事故（管理番号：A202600524）は含まない。

<対象製品の外観及び確認方法>
対象製品の外観



確認方法



対象のACアダプター型番（部品番号）とシリアル番号は、以下のURLから確認できます。

<https://acadaptercheck.dynabook.com/AdapterUpdate/ManualCheck?region=TJPN&lang=ja&country=JP>

交換用に提供するACアダプターは、交換前のものと比べて、プラグ形状が異なり、L字型となっています。



④使用者への注意喚起

対象製品をお持ちで、まだ事業者の行う無償交換を受けていない方は、直ちにパソコン本体及びコンセントからＡＣアダプターを外して使用を中止し、速やかに下記問合せ先まで御連絡ください。

【問合せ先】

D y n a b o o k株式会社「dynabook ＡＣアダプター交換窓口」

電 話 番 号：0120(008)772

受 付 時 間：９時～１８時（土・日・祝日・事業者指定休業日を除く。）

ウェブサイト：<https://acadaptercheck.dynabook.com/AdapterUpdate/InformationJapan?region=TJPN&country=JP&lang=ja>

(2) 株式会社グループセブジャパンが販売した電気ケトルについて
(管理番号：A202600528)

①事件事象について

株式会社グループセブジャパン（法人番号：7010701002766）が販売した電気ケトルを使用中、当該製品の電源プラグ部を焼損し、周辺を汚損する火災が発生しました。

当該事故の原因は、現在、調査中ですが、特定の製造ロットにおいて、電源コードの不適切な使用方法によって電源プラグが破損し、使用の際に、コンセント近辺での発火に至ったものと考えられます。

②再発防止策について

同社は、当該製品を含む対象製品（下記③）について、事故の再発防止を図るため、2025 年（令和 7 年）9 月 16 日にウェブサイト情報を掲載するとともに、プレスリリース、SNS の発信及び取引先販売事業者から購入者に対してダイレクトメールの配信を行い、対象製品について電源プレートの交換（無償）を実施しています。

③対象製品：商品名、製品品番、製造時期（4桁の番号）、対象台数

商品名	製品品番	製造時期（4桁の番号）	対象台数
ティファール 電気ケトル	製品品番、製造時期（4桁の番号）は下記「【問合せ先】ウェブサイト」を参照		4,185,393

2025 年（令和 7 年）9 月 16 日からリコール（電源プレートの交換（無償））を実施

交換率：14.9%（2026 年 7 月 31 日時点）

＜リコール対象製品での事故件数＞

対象製品におけるリコール対象の内容による 2025 年度以降の事故（原因調査中を含む。）の件数は、次のとおりです。これらは、消費生活用製品安全法第 35 条第 1 項の規定に基づき報告を受けたものです。

年度	事故件数	被害状況
2026年度	2	火災
2025年度	3	火災

※当該事故（管理番号：A202600528）は含まない。

＜対象製品の外観、確認方法＞

対象製品の外観



上写真は一例として「77°レリア プラス シュガーペンク 0.8L (BF805774)」を掲載しています。

確認方法

電気ケトル本体の底面には、扇形や長方形のラベルが貼られています（※1）。

ラベルの青枠内が製品品番、赤枠内が4桁の番号です。

お手持ちの製品の製品品番と4桁の番号が共に、別表の対象製品と合致する場合、下記の窓口から無償交換のお申込みをお願いいたします。

（※1）製品によっては、ラベルの形やサイズ及び印字内容やレイアウトが写真と異なります。

「ウォッシュブル 0.8L」（製品名）のみ、ラベルではなく電気ケトル本体の底面に、製品品番と4桁の番号が刻印されています。

【ラベルが貼られている箇所】



④使用者への注意喚起

対象製品をお持ちで、まだ事業者の行う電源プレートの無償交換を申し込まれていない方は、速やかに下記問合せ先まで御連絡ください。

【問合せ先】

株式会社グループセブジャパン ティファール電気ケトル電源プレート無償交換事務局

受付窓口：受付時間 9時～18時（土日祝日、事業社休業日を除く）

電話番号：0120-153-020（フリーダイヤル）

ウェブサイト：<https://www.t-fal.co.jp/news/250916-1/>

※オンライン受付フォーム（24時間）

<https://www.t-fal.co.jp/news/250916-2/>

(3) 株式会社グループセブジャパンが輸入した鍋（取っ手着脱式）について
(管理番号：A202600529)

①事象について

株式会社グループセブジャパン（法人番号：7010701002766）が輸入した鍋（取っ手着脱式）で調理中、当該製品の取っ手が外れ、先端部が顎に当たり、火傷を負う事故が発生しました。

事故の原因は、現在、調査中ですが、レバーの固定金属部品に一部成形が不十分なものが混ざったことと、使用環境による保持機能の低下によりレバーの固定が不十分となり、取っ手の保持機能が低下して外れたものと考えられます。

②再発防止策について

同社は、当該製品を含む対象製品について、事故の再発防止を図るため、2004 年（平成 16 年）11 月 16 日にウェブサイトへ情報掲載するとともに、新聞社告を行い、対象製品について無償製品交換（ハンドル）を実施しています。

③対象製品：商品名、製造期間、対象台数

商品名	製造期間	対象台数
ティファールインジニオシリーズ （スライドボタン式着脱ハンドル）	2003 年 2 月 ～ 2004 年 10 月	約 490,000

2004 年（平成 16 年）11 月 16 日からリコール（無償製品交換（ハンドル））を実施
回収率：29.0%（2026 年 7 月 31 日時点）

<リコール対象製品での事故件数>

対象製品におけるリコール対象の内容による 2010 年度以降の事故（原因調査中を含む。）の件数は、次のとおりです。これらは、消費生活用製品安全法第 35 条第 1 項の規定に基づき重大製品事故の報告を受けたものです。

年度	事故件数	被害状況	年度	事故件数	被害状況
2026年度	0	—	2017年度	0	—
2025年度	0	—	2016年度	0	—
2024年度	0	—	2015年度	0	—
2023年度	0	—	2014年度	0	—
2022年度	0	—	2013年度	0	—
2021年度	0	—	2012年度	0	—
2020年度	0	—	2011年度	0	—
2019年度	1	重傷1名	2010年度	0	—
2018年度	0	—			

※当該事故（管理番号：A202600529）は含まない。

<対象製品の確認方法>

グレーのボタンがついているハンドルが対象

※ブッシュ式ハンドルは無償交換対象外

販売期間：2003年2月～2004年10月



④使用者への注意喚起

対象製品をお持ちで、まだ事業者の行う無償製品交換（ハンドル）を受けていない方は、直ちに使用を中止し、速やかに下記問合せ先まで御連絡ください。

【問合せ先】

株式会社グループセブジャパン インジニオ ハンドル 無償交換事務局

電話番号：0120-101-370

受付時間：月曜日～金曜日 09:00-18:00 （土・日・祝日、事業者指定休業日は除く）

ウェブサイト：<https://www.t-fal.co.jp/consumer-services/info/100126/>

(4) EcoFlow Technology Japan 株式会社が輸入したポータブル電源（リチウムイオン）について
(管理番号：A202600531)

①事象について

EcoFlow Technology Japan 株式会社（法人番号：1010401145409）が輸入したポータブル電源（リチウムイオン）から発煙する火災が発生しました。当該事故の原因は、現在、調査中です。

②当該製品のリコール（無償交換）について

同社は、当該製品を含む対象製品（下記③）について、火災事故が発生したことから、事故の再発防止を図るため、2025 年（令和 7 年）2 月 25 日にウェブサイトへ情報掲載を行い、対象製品をお持ちの方に対し、無償交換を実施しています。

なお、今般報告のあった当該製品（管理番号：A202600531）の事故の原因が、上記のリコール事象によるものかどうかは現時点では不明です。

③対象製品：商品名、J A Nコード、品番、販売時期、対象台数

商品名	J A Nコード	品番	販売期間	対象台数
EFDELTA	4897082661221	EFDELTA 1300-JP	2019 年 11 月 18 日 ～ 2023 年 4 月 30 日	29, 000

2025 年（令和 7 年）2 月 25 日からリコール（無償交換）を実施
回収率：44.0%（2026 年 8 月 17 日時点）

<リコール対象製品での事故件数>

対象製品におけるリコール対象の内容による 2019 年度以降の事故（原因調査中を含む。）の件数は、次のとおりです。これらは、消費生活用製品安全法第 35 条第 1 項の規定に基づき重大製品事故の報告を受けたものです。

年度	事故件数	被害状況	年度	事故件数	被害状況
2026年度	1	火災	2022年度	0	—
2025年度	1	火災	2021年度	0	—
2024年度	2	火災	2020年度	0	—
2023年度	0	—	2019年度	0	—

※当該事故（管理番号：A202600531）は含まない。

＜対象製品の外観及び確認方法＞

対象製品の外観



対象製品の確認方法

製品本体底面のシールに記載された「SN:」の後、D から始まる 15 桁のシリアルナンバーを御確認ください。



EcoFlow「DELTA 2」への交換



④使用者への注意喚起

対象製品をお持ちで、まだ事業者の行う回収及び交換を受けていない方は、直ちに使用停止し（バッテリー残量を0%まで放電を行い、高温多湿を避け、風通しの良い場所に保管をお願いします。）、速やかに下記問合せ先まで御連絡ください。

放電方法や使用注意は以下の EcoFlow Technology Japan 株式会社のHPを御確認ください。

<https://www.ecoflow.com/jp/efdelta-discharge-information>

【問合せ先】

EcoFlow Technology Japan 株式会社 お問い合わせ窓口

受付時間：受付時間 月曜日～金曜日 9：30～17：30
（土・日・祝祭日は除く）

電話番号：050 - 3355 - 3196

※オンライン受付フォーム（24 時間受付可能）

<https://www.ecoflow.com/jp/login?redirect=https%3A%2F%2Fwww.ecoflow.com%2Fjp%2Fefdelta-recall-and-replacement>

※回収・交換プログラムの申請にあたって、EcoFlow 会員登録していただく必要がございます。未登録の場合は、ログイン画面が表示されます。

E - m a i l : efdelta.support@ecoflow.com

ウェブサイト: <https://www.ecoflow.com/jp/efdelta-recall-and-replacement>

(5) EcoFlow Technology Japan 株式会社が輸入したポータブル電源（リチウムイオン）について
(管理番号：A202600532)

①事故事象について

EcoFlow Technology Japan 株式会社（法人番号：1010401145409）が輸入したポータブル電源（リチウムイオン）の爆発を伴う火災が発生しました。当該事故の原因は、現在、調査中です。

②当該製品のリコール（ファームウェアアップデート）について

同社は、当該製品を含む対象製品（下記③）について、セルの異常発熱による火災事故が多発したことから、事故の再発防止を図るため、2026 年（令和 8 年）2 月 5 日にウェブサイトへ情報掲載を行い、対象製品をお持ちの方に対し、ファームウェアアップデートの実施を依頼しています。

なお、今般報告のあった当該製品（管理番号：A202600532）の事故の原因が、上記のリコール事象によるものかどうかは現時点では不明です。

③対象製品：商品名、J A Nコード、品番、販売期間、対象台数

商品名	J A Nコード	品番	販売期間	対象台数
EcoFlow RIVER Pro	4897082661917	EFRIVER600PRO-JP	2020 年 11 月 ～ 2024 年 4 月	57, 000

2026 年（令和 8 年）2 月 5 日からリコール（ファームウェアアップデート）を実施

改修率：13.8%（2026 年 8 月 17 日時点）

<リコール対象製品での事故件数>

対象製品におけるリコール対象の内容による 2020 年度以降の事故（原因調査中を含む。）の件数は、次のとおりです。これらは、消費生活用製品安全法第 35 条第 1 項の規定に基づき重大製品事故の報告を受けたものです。

年度	事故件数	被害状況	年度	事故件数	被害状況
2026年度	2 1	火災 火災・軽傷	2022年度	0	—
2025年度	0	—	2021年度	0	—
2024年度	0	—	2020年度	0	—
2023年度	0	—			

※当該事故（管理番号：A202600532）は含まない。

＜対象製品の外観及び確認方法＞
対象製品の外観



確認方法



④使用者への注意喚起

対象製品をお持ちで、まだファームウェアアップデートされていない方は、直ちに使用を中止し、速やかに下記問合せ先まで御連絡ください。

【問合せ先】

EcoFlow Technology Japan 株式会社 お問い合わせ窓口

受付窓口：受付時間 月曜日～金曜日 10：00～19：00
(土・日・祝祭日を除く)

電話番号：050 - 3355 - 3196

メールアドレス：riverpro-jp.support@ecoflow.com

ファームウェアアップデートの方法は以下の EcoFlow Technology Japan 株式会社のウェブサイトを確認ください。

ウェブサイト：<https://www.ecoflow.com/jp/riverpro-firmware-update>

【本発表資料の問合せ先】

消費者庁消費者安全課（製品事故情報担当）

担当：松本、上田（俊）、別所、箭竹、上田（謙）

電話：03(3507)9204（直通）

URL：<https://www.caa.go.jp/>

経済産業省産業保安・安全グループ製品安全課製品事故対策室

担当：日野、松本、中谷

電話：03(3501)1511（内線）4311

■消費生活用製品の重大製品事故一覧

別 紙

1. ガス機器・石油機器に関する事故(製品起因か否かが特定できていない事故を含む。)

受理番号	事故発生日	報告受理日	製品名	機種・型式	事業者名	被害状況	事故内容	事故発生都道府県	備考
A202600523	令和8年6月 ※不明	令和8年8月13日	カセットボンベ	ファイヤーシェフ	株式会社TTS (輸入事業者)	火災	当該製品をガストーチに装着して点火したところ、接続部から発火する火災が発生した。当該製品に起因するのか、他の要因かも含め、現在、原因を調査中。	大阪府	事業者が重大製品事故として認識したのは令和8年7月29日

2. ガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、製品起因が疑われる事故

管理番号	事故発生日	報告受理日	製品名	機種・型式	事業者名	被害状況	事故内容	事故発生都道府県	備考
A202600524	令和8年8月6日	令和8年8月13日	ノートパソコン	dynabook T451/46DB	株式会社東芝(現 D ynabook株式会社) (輸入事業者)	火災	異臭がしたため確認すると、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生していた。現在、原因を調査中。	東京都	平成30年6月22日からリコールを実施 (特記事項を参照) 回収率:20.5%
A202600528	令和8年7月1日	令和8年8月13日	電気ケトル	KO1738JP	株式会社グループセ ブジャパン (輸入事業者)	火災	当該製品を使用中、当該製品の電源プラグ部を焼損し、周辺を汚損する火災が発生した。事故の原因は、現在、調査中であるが、特定の製造ロットにおいて、電源コードの不適切な使用方法によって電源プラグが破損し、使用の際に、コンセント近辺での発火に至ったものと考えられる。	東京都	事業者が重大製品事故として認識したのは令和8年8月7日 令和7年9月16日からリコールを実施 (特記事項を参照) 交換率:14.9%
A202600529	令和8年6月4日	令和8年8月13日	鍋(取っ手着脱式)	インジニオシリーズ	株式会社グループセ ブジャパン (輸入事業者)	重傷1名	当該製品で調理中、当該製品の取っ手が外れ、先端部が顎に当たり、火傷を負った。事故の原因は、現在、調査中であるが、レバーの固定金属部品に一部成形が不十分なものが混ざったことと、使用環境による保持機能の低下によりレバーの固定が不十分となり、取っ手の保持機能が低下して外れたものと考えられる。	東京都	製造から20年以上経過した製品 事業者が重大製品事故として認識したのは令和8年8月5日 平成16年11月16日からリコールを実施 (特記事項を参照) 回収率:29.0%
A202600531	令和8年8月9日	令和8年8月14日	ポータブル電源(リチウムイオン)	EFDELTA1300-JP	EcoFlow Technology Japan株式会社 (輸入事業者)	火災	当該製品から発煙する火災が発生した。現在、原因を調査中。	茨城県	令和7年2月25日からリコールを実施 (特記事項を参照) 回収率:44.0%
A202600532	令和8年8月6日	令和8年8月14日	ポータブル電源(リチウムイオン)	EFRIVER600Pro-JP	EcoFlow Technology Japan株式会社 (輸入事業者)	火災	当該製品の爆発を伴う火災が発生した。現在、原因を調査中。	兵庫県	令和8年2月5日からリコールを実施(特記事項を参照) 改修率13.8%

3. ガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、製品起因か否かが特定できていない事故

管理番号	事故発生日	報告受理日	製品名	被害状況	事故内容	事故発生都道府県	備考
A202600525	令和8年7月28日	令和8年8月13日	リチウム電池内蔵充電器	火災	当該製品を充電中、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。当該製品に起因するのか、他の要因かも含め、現在、原因を調査中。	京都府	
A202600526	令和8年8月2日	令和8年8月13日	リチウム電池内蔵充電器	火災	当該製品を焼損する火災が発生した。当該製品に起因するのか、他の要因かも含め、現在、原因を調査中。	埼玉県	
A202600527	令和8年7月7日	令和8年8月13日	リチウム電池内蔵充電器	火災	病院で当該製品を充電中、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。当該製品に起因するのか、他の要因かも含め、現在、原因を調査中。	東京都	事業者が重大製品事故として認識したのは令和8年8月5日
A202600530	令和8年7月17日	令和8年8月14日	球出し機(テニス用)	火災	事務所で異臭がしたため確認すると、当該製品を焼損する火災が発生していた。当該製品に起因するのか、他の要因かも含め、現在、原因を調査中。	大阪府	事業者が重大製品事故として認識したのは令和8年7月21日
A202600533	令和8年8月4日	令和8年8月14日	ポータブル電源(リチウムイオン)	火災	当該製品から発煙する火災が発生した。当該製品に起因するのか、他の要因かも含め、現在、原因を調査中。	石川県	
A202600534	令和8年8月2日	令和8年8月14日	ACアダプター	火災	発煙に気付き確認すると、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生していた。当該製品に起因するのか、他の要因かも含め、現在、原因を調査中。	東京都	

4. 製品起因による事故ではないと考えられ、今後、消費者庁製品事故情報検討会及び消費経済審議会製品安全部会製品事故判定第三者委員会合同会議において審議を予定している案件

該当案件なし